

芸能人じゃなくても歯が命

校 長 武井 正明

「校長先生虫歯好き？ 嫌い？」「虫歯、嫌い」「歯医者は？」「歯医者もあんまり好きじゃないな」「虫歯痛い？」「虫歯痛いよ」「どれくらい？」「すごく痛いよ」

若葉の彼とこんな会話で始まる朝も多いのですが、今日4日から10日は「虫歯予防デー」です。この期間は、まさにこの会話はタイムリーな内容となるわけです。

私は歯並びがよくありません。虫歯も多いです。そして歯医者は苦手です。

眼は小学校3年からメガネ。眼科の先生が私の眼に光を当てながら言った「ダメだな…」は忘れません。ああもう僕の眼はダメなんだ、と結構深刻に悩んだものです。

私の歯が虫歯だらけになった決定的な時期は、中学校3年の秋から卒業までです。

今は殆ど見かけませんが、学校と家の途中に駄菓子屋がありました。当然登下校時の買い食いは厳禁です。しかし、タケダ君とたまにその駄菓子屋に寄って一個20円のコーラ飴を口に入れていました。（だから恐喝なんかされるんだよ）

しかも、その飴をどちらが長持ちするか、みたいなことを毎回やっていました。当然帰宅後に歯は磨きません。これが効果てきめん（とは言いませんね）あっという間に歯が痛くなり、虫歯だらけになりました。それからは、帰宅すると歯医者に行くというパターンに変わり、歯医者が終わると、これも親に黙って、お金のある時は夕食前に、近所のどさん子ラーメンを食べるという行動メニューが追加されました。

以来歯医者はずっと避けてきましたが、五十歳を越えたあたりから「詰めていたものが取れる」「歯が欠ける」という事態に多く直面するようになりました。こうなるともう、行かないわけにはいきません。取れた瞬間の、イヤ～な予感…わかりますよね。

欠けた奥歯に被せていた銀歯が食事中に取れ、3回やり直しました。現在は、より接着がいいというプラスチックを被せ、セメントで固めています。

それが先日、朝食を食べていたらまた取れました。もうがっかり。しかも被せ物は、飲んでしまったという悲劇。本人は深刻、妻子はにやにや。あ～あ朝からもう…。

そして登校したら、彼から絶妙なタイミングで「虫歯好き？」即座に「虫歯なんか、大っ嫌い!!」と答えました。すると彼は「大っ嫌い～っ」と、いつもの笑顔で返してくれました。なんだか虫歯で気に病んでいるのが馬鹿らしくなりました。彼のおかげで、かなり心が和みました。今も左の奥歯が、またいつ取れるかと冷や冷やししながら、毎回食事をしています。

だから皆さん、歯は大事。吉中の皆さんには、歯をしっかりと磨いて、健康な毎日を送ってほしいです。大人になって感じますよ。しっかりと歯を磨いてきて良かったって。